

本時の指導

(1) 題材 新しいコミュニケーションツールを考えよう(チャット)

(2) 目標 チャットを利用した実習を通して、チャットに潜む問題点に関心を持って、気づき考えることができ、生活の中で生かそうとする。

自分なりの表現を、チャットソフトを通して行える技能を身に付ける。

チャットで交流している言葉に潜む意味を知り、チャットというコミュニケーションツールの問題点を理解することができる。

(3) 指導過程

	学習活動	主な発問(○)と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	本日の授業の流れの説明を聞く。10分 (集会室)	「これから、カードを渡します。絶対に人に見せないでください」 「今日は、チャットの最後の実習です。今日も決められた会議室で、プリントのテーマにしたがって、10分間チャットをしてください。」 「印のある生徒は、集まってください。それ以外の人は、PC室に入室して準備をしてください。」	- 一人一人に、座るPCと入室する会議室の書かれたカードを渡す。 - チャット授業の決まりを話しておく。
	移動		印のある生徒を集め、今日の課題を説明する。
展開	チャットソフトを利用して、実習を行う 15分	「それでは、チャットでコミュニケーションをしてみましょう。」	- チャットに入れない生徒への支援 - 空いているパソコンを起動して、全ての会議室の様子をわかるようにしておく。 - それぞれの会議室ごとに座らせて、一人ひとり感想を文章表記させる。
	移動	「それではやめてください。今日のチャットをやってみての感想を書いてください。」	
	グループで、話し合う 5分	「実は、同じ会議室の中の一人に課題を出しています。何だったかわかりますか。話し合ってみよう」 「どのくらい情報が抜き取られたか話し合ってみよう。」 「どんな話し合いになりましたか？」	- その間、授業者は、レスを印刷して、各グループに配布する。 - 一人ひとりの文章を確認して回りたい。 - 情報が抜き取られてしまったこと、抜き取られることを防いだ原因などを話し合いの中心におく。
	発表しあう 10分	どうして、そのようなことになったのだろう。	
	チャットを通して言葉の裏にひそむ危うさに気づく 10分	☐ 個人情報がとられてしまった。 ☒ 個人情報をとれるのを防いだ。 ☐ 友達だから安心した。 ☐ 話の流れからわからなかった。 ☒ いかにもあやしかった。 ☒ いきなりこの会話はへんだった。	- どうして、そのようなことになったのか、レスをみながら、考えさせる - あくまでも、生徒の話し合いの流れを大切に、思考を深めさせたい。 - 特定の言葉にこだわる流れになったら、言葉のリストづくりなど考えさせたい。
		あやしい言葉をあげてみよう。	
		「どんな言葉で抜き取られるのか、怪しい言葉を抜き出そう」 ○「聞き出す人の大変さや工夫点は何」	- レスに印をつけさせる。 - 単語だけでなく、話の流れからとられていくことにも気づかせる。 - 聞き出す方の工夫も話してもらう。
まとめ	本時のまとめ 5分	「今日のチャット体験で、どんな感想を持ちましたか？」	- 数名に、短く話してもらう。 - 感想を集めながら、次に発展できそうなものを見つける。

(4) 評価 話し合いや感想を通して評価する。

チャットソフトを利用した実習の様子から評価する。